

## 令和3年度 第2次募集の選抜・評価方法

学校番号 22

千葉県立八千代東高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名5分
(3) 作文	400字～600字 検査時間：50分

### 2 評価項目及び評価基準

#### (1) 調査書〔320点満点〕

アの数値に、イ及びエについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	1か年皆勤者、2か年皆勤者、3か年皆勤者については加点する。 各学年において20日以上、3か年の合計で30日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が一つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、 部活動の記録及び 特記事項	生徒会活動、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

#### (2) 面接〔100点満点〕

2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごと評価の組合せ（a a～c c）で得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機・意欲	志望動機が明確である。 高校生活への積極的な意欲や、具体的目標等が適切に表現されている。
イ 質問に対する応答	質問の内容を的確に理解し、分かりやすく適切に回答できている。 自分の考えを明確で適切な表現で伝えている。
ウ 態度	基本的な作法が身につけており、面接に望む態度が適切である。

#### (3) 作文〔100点満点〕

2名の評価者が、3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごと評価の組合せ（a a～c c）で得点化する。評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 内容	作文題を的確に捉えた文章になっている。 意見・理由・説明が具体的で適切である。
イ 構成	文章の構成が分かりやすく論理的である。 各段落に内容的なまとまりがある。
ウ 表現・表記	文章表現が適切である。 文字・単語の表記が適正である。 字数・語数が適正である。

### 3 選抜方法

#### (1) 選抜の方法

「調査書の得点」「面接の得点」及び「各学校で別に定める検査（作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接検査の得点	各学校において別に定める検査の得点	総得点
評定 (K=2)	加点		作文	
270 点	50 点	100 点	100 点	520 点

#### (2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

### 4 その他

過年度卒業者については、各学校において別に定める検査終了後、別途個人面談を行う。